

会告

- 平成 26 年度春季全国大会
インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について
- 平成 26 年度春季全国大会「研究発表」講演募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正の電子化について
- 全国大会における液晶プロジェクターの利用について
- 平成 26 年度春季全国大会フォーラム講演募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 31 巻（平成 25 年度）の印刷物の購入について
- 国際溶接学会（IIW）グランジョン賞の応募について
- 国際溶接学会（IIW）ゲディック賞の応募について

平成26年度春季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。
なお、申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります
のでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、
英文）、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶
プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報に
ついては、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、
ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が下記のと
うに限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：11月20日12:00～12月11日14:00

原稿提出期間：1月22日12:00～2月12日14:00

PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、
写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要はJ-Stageにて公開されますので、公開を希望さ

れない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事
務局まで申し出て下さい。

(注意事項)

- ①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システム
の利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご
利用ください。なお、詳細な情報は学会 HP にて確認して
ください。
- ②原稿のファイル形式は、PDF 形式のみ受付です。PDF のフ
ァイルサイズの上限は、3MB です。
PDF ファイル作成のためには、PDF ファイル作成専用ソフト
Adobe Acrobat (4.0 以上のバージョン) をご利用下さい。無
料配布ソフト Adobe Reader では PDF ファイル作成がで
きませんので、ご注意ください。
- ③PDF 原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要に
なりますので忘れずに保管してください。

平成 26 年度春季全国大会「研究発表」講演募集

申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださる
ようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありません
ので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、
その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご承
知ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能で
すのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブラ
ンクのまま発表されますのでご了承ください。

◇————◇

平成 26 年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますが
ら、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従っ
てお申込ください。

開催期日：平成 26 年 4 月 22 日（火）、23 日（水）、24 日（木）

開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

—講演申込募集—

1. 申込期間：平成 25 年 11 月 20 日（水）12:00～
平成 25 年 12 月 11 日（水）14:00
2. 講演資格：講演者は正員（学生員も認める）でなければなり
ません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお
申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一
大会での連続報告は 2 報までです。ご注意ください。
◎講演登録料：1 件について 8,000 円をご納入ください。送
金は銀行振込でお願いいたします（振込口座は申込受付時
にメール送信いたします）。登録料は講演申込が取り消され
ても返却いたしませんのでご了承ください。

◎受付済通知：受付番号が発行されますのでパスワードと
ともに保管しておいて下さい。

※大会参加費は下記料金を大会当日別途申し受けますので
ご留意下さい。なお、講演概要集（5,000 円）は別売とな
ります。

(円)

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費
個人会員	正 員	8,000	5,000
	学生員		2,000
賛 助 員		発表不可	5,000
非 会 員	学生以外	発表不可	10,000
	学 生		3,000

4. 原稿（PDF）提出期間：
平成 26 年 1 月 22 日（水）12:00～2 月 12 日（水）14:00
5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従
って作成してください。
6. 発表時間：講演 10 分、討論 5 分
7. 講演申込の確認：申込を受付ますとただちに受付番号を
送信いたします。
8. 講演申込の取り消しについて
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プロ
グラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を
及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。
※PDF（原稿）作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	内 容	備 考	分類記号 ・番号	内 容	備 考
I	溶接プロセス (含機器)		7 8 9 10 11	新材料接合部の諸特性 セラミックス 複合材料 機能材料 高分子材料 その他：新素材開発	
	1 溶融溶接 (1)：アーク溶接，ガス溶接				
	2 溶融溶接 (2)：高エネルギービーム溶接				
	3 溶接技術の新しい展開				
	4 新溶接技術				
	5 新熱源開発，同応用				
II	6 加工技術		IV	溶接・接合部の強度・破壊と設計 1 溶接・接合部の応力 2 溶接・接合部の静的強度 3 破壊靱性，き裂 (発生，進展) 4 疲労強度，疲労き裂 5 環境強度，クリープ 6 溶接・接合設計 (強度計算など) 7 信頼性，安全性評価 8 劣化診断，寿命予測 9 その他	
	7 その他				
	制御・システム工学，溶接・接合技術の 各産業分野への展開				
	1 センサー，モニタ，計測技術				
	2 インプロセス制御技術，品質制御技術				
	3 ロボット工学・技術				
	4 自動化，システム化技術				
	5 CAD, CAM, FA				
	6 製品開発				
	7 生産，製造，施工，組立など				
	8 その他：新技術，新システムなど				
	9 品質保証，施工管理				
10 品質保証，工程設計など					
11 安全・衛生，教育，訓練					
12 非破壊検査，同機器					
III	12 その他：生産設備など		V	圧接，ろう接プロセス 1 圧接 (1)：抵抗溶接 2 圧接 (2)：摩擦，超音波，爆接 3 固相接合，拡散接合 4 接着，ウエルドボンド 5 ろう接：ろう付，はんだ付 6 マイクロ接合 7 機械的接合：リベット，ボルト継手など 8 その他：新接合技術 表面改質及び熱加工プロセス (含機器) 9 成膜 (1)：肉盛，溶射，めっき 10 成膜 (2)：PVD, CVD, イオンミキシング 11 成形：焼結，HIP，鑄ぐるみなど 12 切断，ガウジング，穴あけ加工など 13 その他：焼き入れ，グレージング，封孔処理，新加工技術など	
	金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性 (含鋼材，溶接材料など)				
	1 溶接・接合部，表面改質部の物理化学				
	2 溶接・接合部，表面改質部の組織及び機械的 性質				
	3 耐食性，耐環境性				
	4 低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど				
	5 気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥				
6 その他					

全国大会講演概要原稿執筆要領

— PDF 原稿のみとなります。 —

概要原稿 (テンプレート) が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は，提出された原稿をそのまま B5 版 (約 2/3) に縮写し
オフセット印刷しますので，原稿は必ず下記要領に従ってください。
なお，この要領に記載していない事項については，「溶接学会投
稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定 (又は，指定フォーマット) のものに限り，
1 ページ目は，題目，勤務先 (研究場所)，氏名，英文タイトル，
英文著者名，キーワード，本文などの記入用の用紙 (A) を使用
してください。

2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)，勤務先，著者名 (和英両文)，キーワード (和
英両文) 本文，図表及び写真を含めて，原稿用紙 2 枚 (A, B) に
できるだけ余白を残さずに書いてください。
字数は，40 字×37 行×2 枚=2,960 字 (タイトル等に約 360 字，
本文は約 2,600 字) です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目，勤務先，著者名，キーワード

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書
いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないよ
うに記載して下さい)

著者連名の場合は，講演をする著者名の頭に○印をつけてくだ
さい。

英文タイトル及び著者名は，次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本 文

原稿用紙 (A) 12 行目から (B) いっぱいに原稿用紙のコマに合
わせて黒色で書いてください。また，用紙の枠いっぱいには
40 字×37 行) だけ打ってください。(全体の字数が超過し
なければ，行数，一行の字数の多少の変動はかまいません)
オフセット印刷であることを考えて，文字，図表は鮮明に書い
てください。

レイアウトに際しては，概要集全体の体裁を考えて，行頭，端
末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意して
ください。

文字の大きさは，刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮し
て，大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います。
大体，原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がり
がきれいになります。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は，縮尺 (約 2/3) を考慮した大きさにして関連す
る本文の近い場所に貼付してください。

または，直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際
はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います。

なお，顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは，刷り
上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には，Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し，表
題，説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo で

なく Fig. としてください)

4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

<p>12pt, 明朝体</p> <p>プラズマ溶接の研究</p>	
<p>10.5pt</p> <p>日本工科大学</p> <p>世界電機</p>	<p>○秋山 冬彦</p> <p>夏川 春樹</p>
<p>10.5pt</p> <p>Study on Plasma Welding</p>	
<p>10.5pt</p> <p>by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa</p>	
<p>キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics</p>	
<p>本文（12行目から）→</p> <p>本研究は，プラズマジェットを用いる溶接法について……</p>	
<p>↑</p> <p>1～2字アケル</p>	

Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note “Manuscript for the National Meeting” on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE

PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact

10.5pt

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化 (PDF 化) し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。)万一事務等により E メールが未着の場合にも、3 月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー。バージョン 4.0 以上 (ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkt/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

今春季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。

※講演中の操作は講演者側でお願いします。

平成 26 年度春季全国大会フォーラム講演募集

主 題:「スモールスケール接合・加工の現状と今後の展開」
座 長:中島 泰 (三菱電機), 西川 宏 (大阪大学),
 佐野 智一 (大阪大学)

趣 旨:

溶接・接合技術は歴史が古く、用途に応じてさまざまな溶接法が開発され、溶接設計学、溶接力学、溶接冶金学、溶接機器工学の学術大系が構築されてきた。しかしながら、エレクトロニクスを中心とした製品の小型化にともない、上述の学問領域における「寸法(サイズ)効果」が無視できなくなってきたため、昭和 58 年に溶接学会内にマイクロ接合研究委員会が設立された。マイクロ接合研究委員会において、マイクロ接合とは、「接合対象部が微細・微小であるため、接合対象部の寸法が大きい場合には問題とならない接合部での溶解量、拡散層厚さ、変形量、表面張力などにより、接合性および接合品質に無視しえない影響を及ぼし、これらの寸法効果を特に考慮しなければならないような部位に適用される接合法の総称」と定義され、主にエレクトロニクス実装における「マイクロスケール」の接合に対する研究活動が行われてきた。

しかしながら研究委員会の活動の活発化にともない、溶接・接合における「寸法(サイズ)効果」は、ナノ/マイクロスケールに限らず、そのプロセス、材料、設計、システムにおいてそれぞれのスケールにおける閾値があるという認識が必要となってきた。また、接合部サイズが微小化するにともない、接合・加工現象が極短時間で遷移するケースも多くなり、熱的非平衡・非定常状態の取り扱いも重要となってきた。この「スケールダウン」視点に立ったとき、溶接・接合技術はこれからの成長・拡大産業で

あるエネルギー、バイオ、メディカル、エレクトロニクス分野における基幹技術となり得る。従来のラージスケール接合からスモールスケール接合に至るサイズ効果を統一的に理解し、接合プロセスを工学的に高度に制御するためには、これらの接合現象の基礎的な解明と、支配因子の明確化が不可欠となる。

そこで本フォーラムでは、スモールスケール接合・加工の領域における学術的知見に基づいた研究活動について紹介するとともに、溶接、接合、表面改質、切削などの加工技術のスケールダウンにともなう生じる課題を明確化し、今後の展開について議論を深める。

記

予定討議内容:

- (1) スモールスケール溶接・接合
- (2) スモールスケール表面改質
- (3) スモールスケール非平衡加工
- (4) スモールスケール加工部の評価手法

日 時:平成 26 年 4 月 23 日(水)(大会 2 日目)

13:00~17:00(予定)

会 場:東京ビッグサイト(東京)

申込方法:著者名、タイトル、概要(200 字程度)、所属、連絡先を明記し、FAX(03-5825-4331)にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日:平成 25 年 11 月 1 日(金)

講演採否:直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日:平成 26 年 2 月 3 日(月)

WEB 掲載の溶接学会論文集 31 巻(平成 25 年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成 19 年 1 月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にて WEB 版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成 25 年 11 月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 31 巻(平成 25 年度)

(※特別論文 Visual-JW2012 の収録は含みません)

価 格:溶接学会会員特価 7,500 円/年 1 冊(税込)

送 料:500 円(税込)

発行時期:平成 26 年 1 月下旬頃

送 付 先:学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X: 03-5825-4331

申込締切:平成 25 年 11 月 30 日

入金締切:平成 25 年 12 月 31 日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社(TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815)へ直接ご注文下さい。

定価 15,000 円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切:平成 26 年 3 月 31 日

国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の応募について

IIWでは、大学院生あるいは同年代の若い研究者による論文(単独者)を対象としたグランジョン賞を制定し、募集しております。

この賞は、IIW 科学技術幹事 H.Granjon 氏(仏)を記念したもので、若手研究者の溶接研究への関心を高めることを目的としています。

受賞候補論文は下記の要領により、1国から3分野3論文(1分野1論文)まで応募できます。

奮ってご応募ください。

申込要領:

次の事項を記載し、全論文(和英何れでも可)を付して、メールにて期日までに申し込みください。

- (1) 著者名及び年齢
- (2) 学位(学士、修士、博士など)

(3) 論文を著作した時期及び職名

国内申込先及び締め切り日: 2013年10月11日

申込先(連絡先): 日本溶接会議(JIW) 石丸賢二

email: ishmaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-5825-4073

国内審査:

応募いただきました論文を国内審査し、11月初旬までにIIW本部宛、JIW事務局より申し込みます。なお、国際溶接学会(IIW)での発表実績を重視して審査します。審査に合格した論文は著者にて英文に翻訳(10ページ程度、10月31日までに)していただきますので、あらかじめご用意くださいますようお願いいたします。

授賞式は、2014年韓国大会になります。

国際溶接学会 (IIW) ゲディック賞の応募について

IIWでは、A:溶接材料の開発、B:アーク溶接の実用化、C:若い人の教育・訓練のいずれかのカテゴリで顕著な功績があった科学者、技術者を対象に Halil Kaya Gedik 氏(トルコ)がスポンサーとなって2012年に創設された THE GOLDEN ELECTRODE HALIL KAYA GEDIK AWARD(ゲディック賞)が贈られます。

申込要領: 単独者による申請です。

- ① 履歴・業績概要、② 論文・特許等リスト、③ 論文・特許等(全て英文)を添付して、期日までに下記宛 E-mailにてお申込み下さい。

詳細は、下記にお問合せ下さい。

国内申込先: 日本溶接会議(JIW)事務局 石丸賢二

E-mail: ishmaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-5825-4073

国内申込締切日: 2013年10月11日

国内審査:

ご応募いただきました書類を国内審査し、審査に合格したものをJIW事務局からIIWに申請いたします。

なお、授賞式は、IIW2014年韓国大会になります。

溶接学会誌 Vol.82 No.5 各賞受賞者記事の題目の誤りについて (お詫び)

2013年7月5日発行「溶接学会誌7月号(82巻5号)」の各賞受賞者記事の一部に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。(次頁記載)

《訂正箇所: P.18 田中亀久人賞の題目》

(誤) マルチファイバ方式 YAG レーザシステムの
ガスタービン部品3次元溶接への実用化

(正) 溶接インプロセス品質管理システムの開発と実用化

平成 24・25 年度編集委員

(委員長) 廣瀬 明夫 (副委員長) 上山 智之

(委員) 青木 篤人, 池上 祐一, 池田 倫正, 伊藤 和彦, 猪瀬幸太郎, 大畑 充, 尾花 健, 河西 龍,
木村 文映, 桐原 聡秀, 栗原 繁, 佐藤 嘉洋, 莊司 郁夫, 中谷 光良, 廣田 幸伯, 福本 学,
藤井 啓道, 三瓶 和久, 峯村 敏幸, 宮崎 康信, 妻鹿 雅彦, 山崎 圭, 山本 元道

溶接学会誌 第82巻 第6号

平成 25 年 9 月 1 日 印刷

平成 25 年 9 月 5 日 発行

編集兼発行者 石丸 賢二
東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

印刷者 日本印刷出版株式会社
大阪市福島区吉野1の2の7

発行所 一般社団法人 溶接学会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

電話 03(5825)4073

FAX 03(5825)4331

振替口座 00180-7-143434 番

ホームページ <http://jweld.jp/>